

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2022 年 6 月 6 日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市明海町4-31		
氏名 旭ファイバーグラス株式会社 中部工場 工場長 佐久間 延弘		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-75-6911		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	旭ファイバーグラス株式会社 中部工場	
事業場の所在地	愛知県 豊橋市 明海町4-31	
計画期間	2022.04.01～2023.03.31	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業	
② 事業の規模	当事業所出荷額：4,701,816,325円/年	
③ 従業員数	当事業所：29人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	ライン清掃及び製品屑収集：汚泥→中間処理業者に委託し燃料化 屑製品再利用のためのポリ剥き：廃プラ→中間処理業者に委託し固形燃料化 廃棄パレット：木屑→中間処理業者に委託し再利用 ライン設備更新で発生する金属くず：有価売買 ラインコンベア清掃等で発生する汚泥：中間処理しセメント会社で再利用 汚泥：焼却処分業者で処理することにより熱発電化	

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 種類毎に発生から分別作業 (各部門) ↓ 分別状況確認～所定保管場所へ回収・運搬作業 (各職場・構内協力企業) ↓ 保管量確認～配車手配～搬出作業～排出記録管理 (事務グループ)	各
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2021 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	8種
	排出量	1706.881	t
	(これまでに実施した取組) 2021年度全体的に廃棄量を削減できるように設備改善や運用方法の見直し等行った。これにより削減自体は進んでいるが、場内での再利用化という点に関してはいまいちであると感じる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	6種
	排出量	1193	t
	(今後実施する予定の取組) 最も廃棄量の多い汚泥に関しては2022年以降運用方法の変更により削減中で、おおよそ500 t くらいの排出見込と前年に比べ大幅に削減できる。加えてガラス屑の原料化をテスト予定であり、実施開始できれば約250 t /年ほど削減できる見通し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 人の入れ替わりによる分別のあいまい化を防ぐため定期的な分別教育の実施を計画。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス屑
	全処理委託量	971.9t	580.1t
	優良認定処理業者への処理委託量	971.9t	580.1t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：引き取り回数の削減済み ガラス屑：原料に混ぜて使用テスト実施予定		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑
	全処理委託量	129.8t	15.5t
	優良認定処理業者への処理委託量	129.8t	15.5t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 歩留り向上することにより廃プラの発生は抑制できるため、生産ラインの安定化を図る設備改善を随時調整。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄屑	廃油
	全処理委託量	4.9t	4.7t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.9t	4.7t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 鉄屑：有価売買による再利用化のため2022年以降廃棄0 廃油：液状の廃油に関しては有価売買検討中		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		汚泥	ガラス屑
	全処理委託量		680.0t	400.0t
	優良認定処理業者への処理委託量		680.0t	400.0t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥：引き取り削減中 ガラス屑：2022.06～原料に混ぜて使用テスト実施			
※事務処理欄				

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木屑
	全処理委託量	100.0t	10.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.0t	10.0t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) さらなる安定のための設備改善予定。 木屑：木パレットに関して廃棄分を運送会社へ譲渡検討		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄屑	廃油
	全処理委託量	0.0t	3.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	3.0t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 液状廃油の有価売買を検討中		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

